

## 編集後記

編集長 東野 定律

平成28年度も残すところ数日となり、3月17日に学位記授与式が行われ、本学部からも本年度は106名の卒業生が新たな門出に向かって、一步を踏み出すことになりました。

これから彼らが飛び出していく社会がどのようになって変わっていくのか、独りでは乗り越えることが難しい壁が待ち構えているかもしれません。是非とも彼らには学生時代で培った知識、技術などを活かし、イノベーション（革新）を起こすことで乗り越えていただきたいと思います。

静岡県においても急激な人口減少、少子高齢化、生産人口の減少といったことで、将来の経済規模の縮小や生活水準の低下を招くのではないかと懸念されており、これまでになく新しい取組みによって、地域の力を高めることが求められています。

そのような中、本年度をもって定年退職されました西野勝明教授が、研究をなされていた地域マネジメントとは、地域自らが、変化する環境に適応しながら、地域を維持・発展させることで、そのためには地域のステーク・ホルダー（企業、家計、行政など）が、連携しつつ其々の役割を果たさなければならないというものでした。

先生には、まだまだ教えて頂きたいこと、学びたいことが沢山あるような気がしてなりません。今後とも長年の経験から得られた様々な解決策や見識についてご指導ご鞭撻いただけることを切に願っております。